

『道立公園』のこれからについて

1 北海道の11の『道立公園』

北海道には11の北海道がつくった道立公園があり、1年に約250万人という多くの人たちが利用しています。

北海道でいちばん古い「真駒内公園」は昭和50年につくられ、いちばん新しい「オホーツク流氷公園」でも、今から10年前の平成26年につくられたものなので、いまの子どもたちが遊びに行きたくなるような公園にしていく必要があります。



2 『道立公園』 はとても広い。

『道立公園』 はいちばん小さな公園でも約50ヘクタール、まちなかの身近な公園

の約200倍、学校のグラウンドの50倍以上の広さのあるとても広い公園です。



3 『道立公園』をつくる（つくってきた）目的

～遊び場～

- こどもが安全に遊び、自然とふれあい、レクリエーションや憩いの場になります

～賑わい～

- その地域の歴史や文化、自然を活用した公園をつくり、地域に賑わいをもたらします

～防災～

- 地震などの自然災害時には避難地・救護・復旧活動の拠点として利用もされます

4 みなさんに聞きたいこと

- 『道立公園』にほしいものはなんですか？
- たくさん利用してもらうためには、どんなものがあればいいでしょう？
- 増やしてほしいものや、新しくほしいものはありますか？
- 『道立公園』へ希望することを教えてください。こんなことをしてみたい、こんなものを作ってほしいなど自由な意見を聞かせてください。